



安全に関するご注意

●照明器具には耐用年限があります。

設置場所により環境ストレスはことなります。

ご使用期間が10年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。

また、設置して10*年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をしてください。

*使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。

・周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。

・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検をしてください。

3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、火災・感電・落下に至る場合があります。

安全チェックシート ・ 下表の各項について確認し、該当する場合は点検結果に○を記入してください。

安全点検項目			区分	点検結果	処置		
使用状況・環境	1	使用期間	10年以上である。	B	器具交換又は継続的点検		
			15年以上である。	A	器具交換		
	2	点灯時間	4万時間以上である。	A	器具交換		
	3	電源電圧	定格電圧の106%（定電力形では110%。電子式定電力形では106%）の範囲外である。	B	電源調整又は安定器交換		
	4	特殊環境 <small>粉塵、腐食性ガス 揮発性ガス</small>	器具の種類が適正でない。	A	器具交換		
	5	振動、風	器具等が振動・風に対し適正でない。	A	器具交換		
器具本体・部品	1	本体外面	適合ランプ以外のランプを使用している。	B	ランプ交換		
			点錆や変色が見られる。	B	補修（塗装）		
			塗膜の剥離や腐食が著しい。	B	補修（塗装）又は器具交換		
	2	器具取付部	孔開き、クラックがある。	A	器具交換		
			錆、変形が見られる。	B	補修（塗装）又は器具交換		
			器具が傾斜、破損が見られる。	A	器具交換		
	3	カバー、グローブ	器具を固定するボルト・ナットに緩み・脱落がある。	A	補修		
			錆、変形、クラックが見られる。	A	器具交換		
			4	ラッチ、丁番の可動	錆、変形が見られる。	B	補修又は器具交換
	5	パッキン	動きにくい。	B	補修又は器具交換		
			ひび割れ、破損が見られる。	A	器具交換		
			6	器具内部	硬化、ひび割れが見られる。	B	補修又は器具交換
			7	反射板	錆、変色が見られる。	B	補修又は器具交換
					浸水、浸水跡が見られる。	A	器具交換
8			ソケット、端子台等	変色、汚れ、変形がある。	B	清掃又は器具交換	
				清掃しても回復しない。	A	器具交換	
9	電線類	錆、変色が見られる。	B	器具交換			
		ひび割れ、心線露出が見られる。	A	器具交換			
		10	絶縁抵抗	充電部と非充電部間が2MΩ以下である。	A	器具交換	
11	ランプ	ランプが暗い。	B	原因調査後ランプ交換			
		チラツキや点滅を繰り返す。	B	原因調査後ランプ交換			
		短時間で点灯不能となる。	A	原因調査後ランプ交換			
安定器	1	ケース外面	熱による変色又は部分的に錆の発生が見られる。	B	器具又は別置安定器交換		
			内部の充填物等の流出又は腐食が著しい。	A	器具又は別置安定器交換		
	2	口出線	被覆の硬化、変色がみられる。	B	器具又は別置安定器交換		
			被覆にひび割れ、心線露出がある。	A	器具又は別置安定器交換		
3	絶縁抵抗	充電部と非充電部間が2MΩ以下である。	A	器具又は別置安定器交換			

【診断結果の判定】

●区分Aの○印が1個でもあれば、調査した照明器具は劣化状態が相当進行し、危険な状態に至っていることがあります。チェックした項に対する処置をしてください。

●区分Bの○印が1個でもあれば、調査した照明器具は劣化状態が進行していることがあります。チェックした項に対する処置をしてください。

*上記点検項目以外でも不具合があれば、工事店等の専門家にご相談ください。

*屋外用照明器具固定構造部材（ポール等）の注記文及びチェックシートは別紙参照ください。

屋外用照明器具固定構造部材：CLX2021MA

CLX2021CA
屋外用（高所取付等）

パナソニック株式会社

